

(第7条第1項関係)
政務活動費収支報告書等

令和5年4月14日

清瀬市議会議長 殿

会派名 公明党
代表者名 鈴木 たかし

令和4年度政務活動費収支報告について

清瀬市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、
別紙の通り令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。



令和4年度政務活動費収支報告書

会 派 名 公明党

1 収 入
政務活動費 480,000 円

2 支 出

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	4,310	コピー代
研 修 費	122,120	視察費
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		

3 残 額 353,570 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

清瀬市公明党会派 視察研修報告【調査研究費】

政務活動費収入支出整理簿【整理番号 1】

参加議員 4名(会派全員)

支出 122,120円(交通宿泊参加費4名分)

■開催名：第17回 全国市議会議長会研究フォーラム

■会場：ホクト文化ホール

■主催：全国市議会議長会

■後援：総務省

■実施：全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

■参加費：36,000円(一名:9,000円×4名) ※交通宿泊費・振込料除く

■内容

第1日：令和4年10月19日(水) 13:00

第1部：基調講演『コロナ後の地域経済』

第2部：パネルディスカッション『地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性』

第2日目：令和4年10月20日(木) 9:00

第3部：課題討議『地方議会のデジタル化の取組報告』

■開催目的

本フォーラムは「全国の市区議会議員が一堂に会し、議会の役割の更なる充実を目指し、共通する課題や今後の議会のあり方について意見交換を行うと共に議員同士の一層の連携を深める事を目的とする」とされている。

国においては、デジタル技術を活用して地方を活性化し、持続可能な経済社会を目指す「デジタル田園都市国家構想」が進められており、また、経済社会のデジタル化の急速な進展と新型コロナウイルス感染症の拡大などを背景に、地方自治体そして地方議会のデジタル化も急務となっている。

地方議会においては、議会活動そのものをオンラインでも実施できるような環境整備を行うとともに、デジタル技術を活用して議会と住民との新たなコミュニケーションの可能性を広げることが期待されているなかで、「デジタルが開く地方議会の未来」をテーマとし、地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性や、現場の具体的な取組などについて討議し、今後の議会活動の一助となること目的としている。

第1日目

第1部：基調講演『コロナ後の地域経済』

講師：富山 和彦 氏：株式会社 経営共創基盤 (IGPI) グループ会長、株式会社 日本共創プラットフォーム (JPiX) 代表取締役社長

地域経済が大事だということの一つの要因として、グローバル化が進み相互依存度が高まっているなか、コロナ化で露呈した脆さに対して強靱性を持たせるためには地域の経済がしっかりしていることが大切であり、こういった時代にも入っているという認識を持つべきではないか？もう一つはこの 30 年間、どちらかという日本経済は調子悪かったといわれるが、不振だったのは日本のグローバル企業であり、地域経済の成長性を見ると、そんなに大きな変動はこの 30 年間起きていないと認識している。

2012 年以降は完全に少子高齢化による構造的な人手不足、もともと生産性が低い事が課題となっているが、デジタル化が進み、東京圏だけで働かなくても良くなることで人材の問題を克服し、新しい知恵、新しい知を入れながら、いい意味での新陳代謝を上手に促しながら地方の良さを活かすことでこれから地方・地域は宝の宝庫になる。

コロナ後の地域経済こそが私は日本経済の持続的な再生を引っ張っていくと考えている。というのが講師の見解だった。

第2部：パネルディスカッション

『地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性』

コーディネーター：人羅 格 氏[毎日新聞社論説委員]

パネリスト：岩崎 尚子 氏[早稲田大学電子政府・自治体研究所教授]

牧原 出 氏 [東京大学先端科学技術研究センター教授]

湯淺 壘道 氏 [明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授]

寺沢 さゆり氏 [長野市議会議長]

冒頭、それぞれのパネリストよりポストコロナを迎える中で、「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」について総論・総括的な意見を頂く。

岩崎氏より、少子高齢化をはじめ社会課題をデジタル化によって改善させていくのかという点について考える時代に来ている。地方議会に目を転じると、課題の一つにデジタル人材の不足をはじめ、議会 DX の予算の確保、制度改正の必要性、請願書・意見書の電子的提出にかかわる住民視点の対応の必要性、投票率の低下、議員のなり手不足、性別の偏り、世代・年齢構成の偏り等、さまざまな課題が浮き彫りになっているが、今はまさにデジタル化を進める最後のチャンスとの意見。

牧原氏より、デジタル化は、今まで重視されてきた自治体法務のリテラシーとは正反対で、手堅く間違いのないように進めるのとは違って、素早く展開し、間違いがあったらあとで修正していくという性質のもの。デジタル、法務など

多様なリテラシーと相互調整の中に地方自治の基盤がある。デジタル化には実施に際しての留意点・工夫点など細かい情報をそれぞれが公開して、共有していくことが大切であり、情報共有によってさらに有効なデジタル化を進めていただきたい、との意見。

湯浅氏より、自治体議会のデジタル、市議のデジタル化というのは、ハードウェアとしてタブレットやパソコンやその他ハードウェアを入れるということではない。オンライン化やデジタル化にあたっては、議会として個人情報はどうすべきなのかということは、今まさに議会が考えていただかなければならない、との意見。

寺沢氏より、① 平成 28 年採決システムの導入、② 平成 30 年、常任委員会のインターネット中継を録画で開始、平成 30 年 3 月定例会の常任委員会の撮影動画を YouTube に公開する実証実験を経て、6 月定例会から議会活性化の一環として本格的に常任委員会についてインターネットで公開、③ ホクト文化ホール平成 31 年、議会活動にタブレット端末を導入、④ 令和 4 年度、市民と議会の意見交換会をオンラインで開催、⑤ 委員会のオンライン開催の導入（9 月定例会で長野市議会委員会条例、長野市議会会議規則の改正を議決し、12 月 1 日からの施行予定で進めている）。

長野市議会のデジタル化の取り組みとして、近年の取り組みのうち、大きなものを以上 5 点紹介された。

続いてデジタル化について「議会運営のデジタル化」「議会と住民のコミュニケーションの強化」について議論を深めるためにパネリストより、

- ・意見書や請願書をオンライン提出するというのも技術的には全く可能であるということを民間の先行事例からも伺える。
- ・議会はデジタル化を徐々に導入しやすくなる一方で、受け手側の市民がしっかりと、その環境を利活用できるのか？検証が必要。
- ・議会報告会は、ハイブリッドが一番望ましい
- ・日本では対面の行政の水準があまりにも高すぎて同じレベルのものを DX で求めるから、なかなかできない。できるところからデジタル化を進めていただきたい。
- ・一方通行になりがちな議会と住民との関係をデジタル化によって再構築できないか。
- ・女性の割合を増やすポジティブアクションを実現するためのデジタル化の促進等の意見が挙げられ、翌日の課題討議へ続く。

第2日目

第3部：課題討議「地方議会のデジタル化の取組報告」

コーディネーター：谷口 尚子 氏 [慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授]

事例報告者：金澤 克仁 氏 [取手市議会議長]

板津 博之 氏 [可児市議会議長]

林 晴信 氏 [西脇市議会議長]

最初に取り手市議会議長・金澤氏より、早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度ランキングで、市議会としては初めて2年連続で1位という評価をされた取り組みとして、議員にタブレット導入、オンライン会議の開催、オンライン事前議案説明、オンラインでの現地を視察、広聴・広報機能、災害対応、研修等、を実施している報告。

続いて、可児市議会議長・板津氏よりは議会報告会のオンライン活用、グループウェアによる議員間の情報共有についてプレゼン報告。

最後に、西脇市議会議長・林氏より実際にオンライン委員会を開催した模様と共に、デジタルによってより多くの多様化した民意の集約化をできるように議会DX進めたいと語られていた。

事例紹介の後、課題解決に向けた取り組みへの意見として

- ・議員全員で、とりあえずできることから、まずやってみようという気持ちで取り組む
- ・今後は議会報告会という点では、若い人に参加していただけるような情報発信も必要
- ・オンライン視察は時間と距離を超越できる
- ・ICT は結局、「道具」に過ぎない。新しいツールをどう使いこなす何をなすべきかが大切等の意見が挙げられた。

2日間を通して、特にコロナ禍があったことが一つの契機となったが、議会のデジタル化の重要性と課題を考えさせられた学びの多い2日間の視察となった。





第17回 全国市議会議長会研究フォーラム in長野

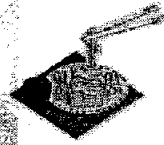
第17回 全国市議会議長会研究フォーラム in長野

東京都
清瀬市議会



斉藤あき子

大ホール
座席指定番号：2階/14列/8番



#000375-P001652

東京都
清瀬市議会



原和弘

大ホール
座席指定番号：2階/14列/7番



#000375-P001654

第17回 全国市議会議長会研究フォーラム in長野

第17回 全国市議会議長会研究フォーラム in長野

東京都
清瀬市議会



鈴木たかし

大ホール
座席指定番号：2階/14列/4番



#000375-P001655

東京都
清瀬市議会



西上ただし

大ホール
座席指定番号：2階/14列/3番



#000375-P001657

プログラム

第1日目 10月19日(水)

- 11:30 開場・受付
- 13:00 開会式
- 13:20 第1部 基調講演
「コロナ後の地域経済」
富山 和彦氏
- 14:20 休憩
- 14:40 第2部 パネルディスカッション
「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」
- 16:40 次期開会地挨拶
- 16:50 終了

第2日目 10月20日(木)

- 8:30 開場
- 9:00 第3部 課題討議
「地方議会のデジタル化の取組報告」
- 11:00 閉会式
- 11:30 第4部 視察



プログラム

第1日目 10月19日(水)

- 11:30 開場・受付
- 13:00 開会式
- 13:20 第1部 基調講演
「コロナ後の地域経済」
富山 和彦氏
- 14:20 休憩
- 14:40 第2部 パネルディスカッション
「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」
- 16:40 次期開会地挨拶
- 16:50 終了

第2日目 10月20日(木)

- 8:30 開場
- 9:00 第3部 課題討議
「地方議会のデジタル化の取組報告」
- 11:00 閉会式
- 11:30 第4部 視察



プログラム

第1日目 10月19日(水)

- 11:30 開場・受付
- 13:00 開会式
- 13:20 第1部 基調講演
「コロナ後の地域経済」
富山 和彦氏
- 14:20 休憩
- 14:40 第2部 パネルディスカッション
「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」
- 16:40 次期開会地挨拶
- 16:50 終了

第2日目 10月20日(木)

- 8:30 開場
- 9:00 第3部 課題討議
「地方議会のデジタル化の取組報告」
- 11:00 閉会式
- 11:30 第4部 視察



プログラム

第1日目 10月19日(水)

- 11:30 開場・受付
- 13:00 開会式
- 13:20 第1部 基調講演
「コロナ後の地域経済」
富山 和彦氏
- 14:20 休憩
- 14:40 第2部 パネルディスカッション
「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」
- 16:40 次期開会地挨拶
- 16:50 終了

第2日目 10月20日(木)

- 8:30 開場
- 9:00 第3部 課題討議
「地方議会のデジタル化の取組報告」
- 11:00 閉会式
- 11:30 第4部 視察



第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

令和4年10月31日

清瀬市議会 公明党 御中

参加費領収書

第17回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 清水 富雄

東京都千代田区平河町2-4-1

金 36,000 円

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野の参加費として

令和4年10月19日・20日開催 (長野市)

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

令和4年10月31日

清瀬市議会 公明党 御中

宿泊費領収書

東武トップツアーズ(株)官公庁事業部

第4営業部長 村井良子

東京都新宿区西新宿7-5-25

金 30,400 円

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

令和4年10月19日・20日開催 (長野市)

但し

宿泊費として

領収証番号③

領 収 証

清瀬市議会公明党 様

2022年 9月21日

金55,280円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
新秋津801 No.000011



領収証番号④

MIZUHO みずほATVコーナー | ご利用明細票

ご利用ありがとうございます。
内容をご確認のうえ、必ずお持ち帰りください。

みずほ銀行

お取引日	2022-10--6		
お取引口座番号	*****		
振込手数料	お取引金額	**440*****66,400	
電信振込	*****		
利用手数料	お取引金額	**3,160	
1240****-073100-20292008	清瀬		

みずほマイレージクラブのお取引条件とられしい特典が変わりました。

みずほ銀行
東武支店
トウブ・トツブ・ツアーズ (カ) 様
4119キヨセシシキ カイ 様

発信番号81A060731000010

0895 0006196015

裏面に「みずほ」からのお知らせがあります。

第17回 全国市議会議長会研究フォーラム 視察行程表

10/19(水) 往路

9:55 集合	新秋津	南船橋行
10:03 発		
	武蔵野線	
10:21 着	武蔵浦和	大宮行
10:31 発		
	JR埼京線	
10:43 着	大宮	金沢行
10:57 発		
	JR新幹線はくたか559号	
12:06 着	長野	

	@3,740×4
乗車券	
特急券	@3,170×4


10/20(木) 復路

13:21 発	長野	東京行
	JR新幹線はくたか562号	
14:27 着	大宮	大船行
14:49 発		
	JR京浜東北・根岸線快速	
15:01 着	南浦和	府中本町行
15:10 発		
	武蔵野線	
15:30 着	新秋津	


	@3,170×4
特急券	
乗車券	
	@3,740×4

A票 納入通知書兼領収証書

A票 納入通知書兼領収証書

〒 204-0003 東京都清瀬市中里5-842		
公明党 代表 鈴木 たかし		
様		
令和 4年度	現年	調定番号 102026
担当課 総務課		
金額	1,990 円	
件名	公明党 令和4年4月~9月分 コピー機使 用料金	
会計	01 一般会計	
款	21 諸収入	
項	05 雑入	
目	03 雑入	
節	03 雑入	
細節	14 コピーサービス等	
細々節		
上記の金額を令和 4 年 11月 11日までに 納入してください。		
清瀬市長		
上記の金額を領収しました。		
納付場所 清瀬市役所 りそな銀行清瀬支店清瀬市派出所 清瀬市役所(松山・野塩出張所) 清瀬市指定金融機関 清瀬市収納代理金融機関		
清瀬市役所		領 収 済 印 ¥1990 N14
住所 東京都清瀬市中里5-842 電話番号 042-492-5111		

納入者保管

〒 204-0003 東京都清瀬市中里5-842		
公明党 代表 鈴木 たかし		
様		
令和 4年度	現年	調定番号 103761
担当課 総務課		
金額	2,320 円	
件名	公明党 令和4年10月~3月分 コピー機 使用料金	
会計	01 一般会計	
款	21 諸収入	
項	05 雑入	
目	03 雑入	
節	03 雑入	
細節	14 コピーサービス等	
細々節		
上記の金額を令和 5 年 4月 21日までに 納入してください。		
清瀬市長		
上記の金額を領収しました。		
納付場所 清瀬市役所 りそな銀行清瀬支店清瀬市派出所 清瀬市役所(松山・野塩出張所) 清瀬市指定金融機関 清瀬市収納代理金融機関		
清瀬市役所		領 収 済 印 ¥2320 N32
住所 東京都清瀬市中里5-842 電話番号 042-492-5111		

納入者保管